

第8回広島大学・海洋研究開発機構 合同シンポジウム

第6回HiPeRシンポジウム

—マグマと地球内部物質循環—

主催

- ・ 広島大学 大学院理学研究科 地球惑星システム学専攻
- ・ 海洋研究開発機構 高知コア研究所
- ・ 広島大学理学研究科附属理学融合教育研究センター

共催

- ・ プレート収束域の物質科学研究拠点 (HiPeR)

【日時】 2019年11月29日(金) 13:00~17:30

【場所】 広島大学 東広島キャンパス 図書館ライブラリーホール

【概要】地球には太陽系の惑星で唯一水が存在するため、プレートテクトニクスやマントル対流といった運動が現在でも起こっている。そのため生きた惑星と言われている。水は地球表層から深部までの間を様々な物質を伴い循環しており、マグマの発生もその結果の一つであると考えられている。本シンポジウムではマグマ学、岩石学、地球化学、実験岩石学などを専門とする研究者を招き、マグマと地球内部物質循環に関する最新の研究を紹介する。

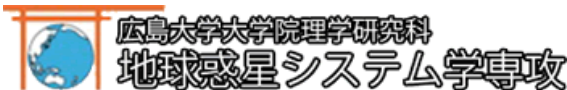
【プログラム】

開会の挨拶：井上 徹（広島大学 大学院理学研究科 地球惑星システム学専攻長）

1. 13:05~14:05 巽 好幸（神戸大学）
超巨大噴火の実態に迫る
2. 14:05~14:35 石川 剛志（海洋研究開発機構）
断層岩・交代岩から沈み込み帯前弧域の流体に迫る
- ～休憩（10分）～
3. 14:45~15:15 柴田 知之（広島大学）
九州の第四紀マグマの地球化学
4. 15:15~15:45 清水 健二（海洋研究開発機構）
マグマの揮発性元素から読み解く地球内部の水
5. 15:45~16:15 柵山 徹也（大阪市立大学）
ユーラシア東縁部のスタグナントスラブと火山活動
- ～休憩（10分）～
6. 16:25~16:55 芳川 雅子（広島大学）
上部マントル物質から見たマグマプロセス
7. 16:55~17:25 三部 賢治（東京大学）
地球深部流体と沈み込み帯マグマの化学組成

閉会の挨拶：石川 剛志（海洋研究開発機構 高知コア研究所 所長）

入場は自由です。お気軽にご聴講ください。



問い合わせ先

広島大学
海洋研究開発機構

柴田 知之(tomo33hk@hiroshima-u.ac.jp)
石川 剛志(t-ishik@jamstec.go.jp)

